

国際音楽祭ヤング・プラハ通信

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会

【本部】〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘 6-3-2-806

Phone/FAX 042-338-7077 (事務局 044-986-6915)

Email office@youngpraha.jp http://www.youngpraha.jp/

第 13 号

平成 22 年 10 月 15 日発行

ヤング・プラハ 2010

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会
安東 和民

ヴルタヴァ（モルダウ）川に沿って建つ音楽の殿堂、ルドルフィナム。ヤング・プラハの最終公演は毎年このなかのドヴォジャークホールと決まっている。トリの周防亮介君がチャイコフスキー バイオリンコンチェルトを弾き終わると割れるような拍手、スタンディングオベーションがみるみる増えてゆく。舞台上の周防君は満ち足りた表情を浮かべ、指揮者の松井慶太君と握手、満席の聴衆にお辞儀を繰り返す。まだ 15 歳の若者がプラハで最高のデビューを果たした。

ボヘミアとモラビアの境にリトミシュルという街がある。丘の上に建つ瀟洒な城は世界遺産に登録されている。チェコ国民音楽の祖、作曲家スメタナはここで生まれた。幼い頃から天才ぶりを発揮していたスメタナは、この城でコンサートを度々開いていた。街のご好意でヤング・プラハは、この城内で例年コンサートを開いている。今年は城の最上階にあるピアノが並ぶ博物館で外川真里亜さんがミニ・シュタインウェーを弾いた。立ち見客が出て一杯の会場に華やかなラヴェルの旋律が広がる。コンサートがはねた後、許可を得てスメタナが弾いていたピアノで一曲。外川さんを囲み楽しい時間が流れていった。

今年で 19 回、関係者の熱意とスポンサーの応援でこの音楽祭は毎年途切れることなく続いてきた。思い出すのは故コツテスキー先生のこと、元スメタナ・クアルテットのメンバーで引退後の人生をヤング・プラハの発展に捧げてくれた。中島代表と先生の献身的な活動がなければこの音楽祭が今まで

続くことはなかった。代表と北ボヘミアの田舎にある先生のお墓に参じた。秋の気配が漂う山間地、先生と奥様の二つの墓石が寄り添う姿が美しい。「今年も無事、開催出来ました。来年は 20 年、立派な音楽祭に致します。」

今年、プラハでも友の会が発足した。会長の大坪さんから「何を一番、期待されますか」と聞かれた。即座に「会場を音楽ファンで一杯にしてください」とお願いした。一杯の聴衆は暖かい心で会場を満たしてくれた。レセプションの会場でチェコの友人と目が合った。「カズ、素晴らしいコンサートだった。満員の聴衆の暖かい応援で会場の雰囲気が素晴らしいかった。こんなコンサートは他所では味わえない。この会場で演奏できた奏者は本当に幸せだね。来年も必ず呼んでくれ。ありがとう！」

来年、ヤング・プラハは 20 周年の節目を迎える。日本でもヤング・プラハ OB が集まって各地でコンサートを開くことになった。プラハで演奏した若い日を思い出し日程をやり繰りして第一線で活躍している演奏家たちが駆けつけてくれる。素晴らしいコンサートになるだろう、そうしなければ。



先生ご夫妻の墓前にて



上：世界遺産リトミシュル城と、スメタナ愛用のピアノに向かい感激の外川さん 下：若者の熱演を楽しむワルトシュタインの聴衆とドヴォジャークホールでのトリ、松井君の指揮で見事な演奏をする周防君



第19回 ヤング・プラハ本祭を終えて

ヤング・プラハレポート

ヤング・プラハ日本実行委員会
代表 中島良史

いよいよ来年の創立20年！のヤング・プラハ。イチロウの10年連続2百本も凄いけど、このノンプロフィット音楽祭の継続もこのご時勢“スゴクない？”…ですね。

「若者の祭典」は19歳。生みの親の筆者としては、手塩にかけた年頃の娘の様で、もはや♪やめられない、とまらない～カッパ♪…？古い？こりやまた失礼！

今年も7カ国の若者がプラハに参集し、熱演を繰り広げました。ベートーヴェンの庇護者、ワルトシュタイン伯爵の壮大な宮殿はプラハ城の丘直下。今は上院議場で空港と同じ厳しいセキュリティチェックを受けて入場すると、そこには目にも眩い黄金の装飾が施されたハプスブルグの大広間。その壮麗な空間も例年ヤング・プラハの舞台となります。そこで外川真里亜さん（桐朋学園卒、マネス音楽院首席卒業）がリサイタル。的確な技巧で紡ぎだす音は、豊かな音響空間に広がり聴衆を魅了しました。ヴァイオリンの15歳天才少年周防亮介君が圧倒的成功を収めたファイナルコンサート。聴衆総立ちの光景は、2001年当時15歳の神尾真由子さん（後にチャイコフスキーコンクール優勝）のあの時を彷彿とさせました。そのファイナルの指揮者は松井慶太君（東京音大卒、2009東京国際音楽コンクールに入選）“のだめ”の千秋の影武者で身長187cm 抜群のプロポーシヨンのイケ面！オーケストラを掌握し、3人の若者の協奏曲をナイスサポート。自身コリオリン序曲で高い音楽性を証明しました。今年もまたヤング・プラハ参加者のラインナップに素敵な仲間が加わりました。

そして来年1月のヤング・プラハ in 東京で来日する、クラリネットのペトルとホルンのカテジーナ（19歳の可愛い！女の子）も素晴らしい演奏でした。ご期待ください。

さて映画「アマテウス」女帝マリア・テレジアの御前演奏の場面ピアノとヴァイオリンを目隠しで弾いた坊やが、なんと！ここ数年各地で伴奏ピアノで音楽祭をサポートしてくれているセケラ氏だったとは！今年のはじめて知りました。今や32歳の実力派ピアニスト。プライベートを守り、ゴシップ、ブログ…なんて全く縁の無い静かなチェコ社会です。

さて現地プラハのサポートの会発足（感謝！！）を記念す



ストラホフの丘の塔の上からカレル橋



恒例 日本人学校コンサート。ハンガリーのクインテットと“ふるさと”も共演した小学生たち



チェスラフスカさん、フィンダ志保子さんと

るレセプションに、あの懐かしいチャスラフスカさんが現れました。東京オリンピックの体操の花、彼女はその後旧体制下で不遇な人生を送られたそうです。しかしビロード革命から20年。お年を召されたけどあの美しい、素敵な笑顔は変わりなく！会えて感激！以上です。

蛇足：筆者プラハ滞在最終番に不覚にも体調崩し、毎年恒例の世界最高チェコビール“痛飲”が哀れ今年「通院」に（外国の病院は初体験？）しかしそのお医者さんがファイナルにご来場とはさすが音楽の都プラハ！しかも再診は無料にしてくれちゃった！

日本からの出演者の声

周防亮介

9月7日からプラハに行かせていただき、2回演奏させていただきました。

1回目は、プラハ郊外のラコヴェニクという町の教会で



ドヴォジャークホールを背に

したが、町は静かで人の気配もなく、お客様は来てくださるのかと少し心配でしたが、演奏会が始まる頃には会場いっぱいのお客様で驚きました。演奏が終わると大きな拍手をいつまでもいただき、お帰りになるとときには僕に一言ずつ声をかけてくださり、すごく嬉しかったです。

2回目は、ファイナルコンサートでプラハ室内交響楽団の皆様と共演させていただきました。

ホールは、とても立派なドヴォジャークホールです！！実際にホールの前に立つと胸がドキドキ・ワクワクして、夢のようでした。本番前は、今までに経験したことがない緊張感でしたが、指揮の松井先生の優しい穏やかな表情と、オケの皆様笑顔のおかげで、最後まで楽しく音楽に集中するこが

できました。そして、お客様の大きな拍手には、有難くて嬉しくて…感激でした。

今回、ヤング・プラハに参加させていただき、貴重な経験をさせていただいたことは、僕の宝物です。本当にありがとうございました。

日本とチェコの実行委員の先生方、スポンサーの皆様、スタッフの方々…本当に大勢の皆様のおかげで僕はこんなに素晴らしい経験をさせていただいたことに心から御礼申し上げます。

外川 真里亜

今回は第 19 回国際音楽祭ヤング・プラハに参加させて頂き本当にありがとうございました。

私は今回 3 回の地方公演と、プラハでのメインコンサートの 4 回の演奏の機会を頂きました。

私にとって初めてのヨーロッパでの演奏会ということで、出発前は演奏できる喜びと緊張とで大きな期待と不安が入り混じった日々を過ごしながらプラハに発ちました。プラハに着き、長い歴史の中で作られた文化の中に身をおいてみると、その歴史の大きさと存在感に圧倒されました。とても美しい町並みに感動し、町全体が芸術で溢れている光景は、私に大きな活動力と深い感激を与えてくれました。

私の最初のコンサートはドイツでの教会コンサートでした。とても美しい教会での響きと空間を全身で感じながら楽しんで演奏できました。2 日間のプラハ ワルトシュタイン宮殿でのコンサートは、私にとって一生忘れる事のできないコンサートでした。ホール全体が天井から窓壁まで、まるで宝石箱の中のようなとても美しく壮大な会場でのコンサートで、とても貴重な経験となりました。音楽にあふれるプラハでのコンサートは私の今までの演奏活動の中でも経験したことのない感動と感激で、聴衆の暖かさ、コンサートが進むにつれ生まれる会場との一体感、そして自分自身がその場で演奏している大きな喜びとで一生忘れることのできない素晴らしい経験



ワルトシュタインでリハーサル中

験をさせて頂きました。スメタナが生まれた地、リトミシュルのリトミシュル城ピアノ博物館でのコンサートは暖かい聴衆に包まれ、演奏会終了後にはスメタナが弾いていたピアノにも触らせて頂く機会があり、この上ない喜びでした。今回ヤング・プラハで経験させて頂いた事は今後の私の音楽家として、必要な経験、そして大切な事を学ばせてくれました。

そして日本、チェコ実行委員会の皆様には大変暖かいサポートをして頂き、本当に感謝しています。私がこの音楽祭への出演に際して関わってくださった全ての方々に心より感謝致します。ありがとうございました。

これを糧に、更にステップアップして素晴らしい演奏家になりたいと思います。

松井 慶太

今回ヤングプラハ音楽祭に参加しドヴォジャークホールで演奏できたことは、私にとってとても素晴らしい財産になり、リハーサルや人との出逢いを通して音楽



チェコのマエストロと同じ部屋で

というものがあるのか、改めて考えさせられました。今回オーケストラを指揮するにあたり、異国のオーケストラをどうやってリハーサルをしようか、ということをお日本で勉強しながら何度も悩みました。しかし最初にタクトを振り下ろした瞬間に、そんな私の思いはどこかへいってしまいました。音楽に言葉はいらないとはよく言ったものです。思った通り、いや思っていた以上の豊かなやわらかなサウンドが、指揮だけでほぼ完全に再現されました。

このような経験が私の音楽人生に多大な影響を与えてくれることは間違いありません。素晴らしいオーケストラ、プラハの美しい街並、出逢った人々、感動的な音楽、すべてが私の血となり肉となりました。私の心を育ててくれたこの国にいつか恩返しができたらと思っています。

最後になりましたが、私をこのような演奏会に導き、協力してくださいましたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



コンサートのお知らせ

在日チェコ大使館演奏会 定例ヤング・プラハ演奏会

日時：2010年11月5日(金) 19:00 開演

会場：在日チェコ大使館ホール

出演者：周防亮介、外川真理亜(以上本年度ヤング・プラハ出演者)、高野麗音(ハープ 2008年出演者)

2011年 国際音楽祭ヤング・プラハ

創立 20 周年記念 in Japan

ヤング・プラハ日本実行委員会は創立 20 年事業としてご覧の

コンサートを企画しました。ご期待ください。in 東京のチラシは追ってお送りします。

ヤング・プラハ in 東京 ガラコンサート

～ チェコ音楽の祭典 ～

会場：東京渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

日時：2011年1月22日(土) 18:00 開演

1月23日(日) 14:00 開演

in Japan 企画のメインコンサート。チェコから招聘する若い素晴らしい演奏家とヤング・プラハ 20 年間に参加した第一線

の日本人が競演。2 日間にわたる演奏会のプログラムは全てチェコの音楽の名曲。ご期待ください。

会場は 2010 年 11 月に渋谷区が建設し、来る 11 月にオープンするアコースティックが素晴らしい新ホール。(渋谷駅より徒歩 5 分)

出演者

ヴァイオリン ロマン・フラニチカ
チェロ トマーシュ・ヤムニーク
クラリネット ペトル・ヴァシェーク
ホルン カテジーナ・ヤヴールコヴァー

ソプラノ 安藤赴美子
ピアノ 太田紗和子、菊地裕介、佐藤彦大

住友郁治、松本和将、
渡邊治子

ヴァイオリン 植村菜穂、植村理葉、黒川 侑、田野倉雅秋
ハーブ 高野麗音

ギター 大萩康司、鈴木大介

フルート 丸田悠太

クラリネット 櫻田はるか

パーカッション 山本晶子

NHK 東京児童合唱団

東京ヤング・プラハ合唱団 指揮 松井慶太

主なプログラム

1 月 22 日

スメタナ： 歌劇「売られた花嫁」開幕合唱、3 つの女声合唱曲、「我が故郷より」

ドヴォジャーク： 歌劇「ルサルカ」より “白銀の月よ” ほか

ヤナーチェク： ピアノソナタ “1905”、青春

マルチヌー： スロヴァキア民謡による変奏曲、六重奏”キッチン”のレビュー”

1 月 23 日

マーハ： ラシウスコ地方のヨーデル

マルチヌー： 四重奏曲

ドヴォジャーク： ヴァイオリン曲集、ピアノトリオ “ドゥムキー”より

ヤナーチェク： 弦楽四重奏曲 クロイツェルソナタ、コンチェルティノー

招聘チェコ演奏家による各地の演奏会

ヤング・プラハ in 松本

日時： 2011 年 1 月 15 日 (土) 14:00 開演

会場：まつもと市民芸術館

ヤング・プラハ in 河口湖町

日時： 2011 年 1 月 16 日 (日) 14:00 開演

会場：河口湖円形ホール

千代田テクノル チャリティーコンサート

日時： 2011 年 1 月 19 日 (水) 19:00 開演

会場：株式会社千代田テクノルホール

ヤング・プラハ創立 20 周年記念

～ 輝くヤング・プラハ演奏家たち ～

モーツァルト協奏曲の夕べ

主催：株式会社システム YAMATO

共催：ヤング・プラハ日本委員会

日時： 2011 年 3 月 18 日 (金) 19:00 開演

会場：東京渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

出演者 (予定)：岡 静代 Cl、松本和将 Pf、丸田悠太 Fl、高野麗音 Hrp、

中島良史指揮、ヤング・プラハ祝祭管弦楽団

ヤング・プラハ・フレンズのご案内

～ ご入会・ご更新のお願い

「ヤング・プラハ・フレンズ」は国際音楽祭ヤング・プラハの活動を通して若い優秀な演奏家の成長を支援しています。ヤング・プラハを経験した若い演奏家たちは、ヴァイオリンの神尾真由子(2001 年参加)、ピアノの上原彩子(2002 年参加)、ピアノのジュゼッペ・アンダローロ(2005 年参加)をはじめ、世界の名だたるコンクールでも活躍し、ヤング・プラハでの経験を糧にますます芸術の高みを目指しています。

音楽祭は非営利団体として日本・チェコ両国の企業メセナと文化庁の支援、そして実行委員の献身的努力によって運営され、1992 年より一年も休まずに続けてまいりましたことは、奇蹟といって過言ではありません。しかし昨今の世界的経済不況により運営が危機的状況でございます。この意義ある音楽祭の持続的な発展のために、フレンズの皆様には引き続き暖かいご支援を賜りたく、本年度の継続をお願い申し上げます。また、お知り合いの方々にもご入会をお誘いいただければ幸いです。ご入会はホームページからもお申し込みいただけます。(<http://www.youngpraha.jp/>)

ヤング・プラハ・フレンズの皆様には、活動の様子をご報告する会報をお送りしています。またご支援への感謝を表して、ご支援者様の氏名を音楽祭プログラムに印刷させていただいております。

フレンズの種類	年会費(1~12月)
個人会員	—□ 10,000円
家族会員(個人会員のご家族)	—□ 5,000円
法人会員	—□ 30,000円
特別会員 (ヤング・プラハ出演者 出演から5年間)	3,000円以上 (但し初年度無料)

口座名義： 国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会

振込口座： 三菱東京UFJ 銀行浜松町支店 普通口座 4547275

お問い合わせ：

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会

〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘6-3-2-806

TEL/FAX 042-338-7077 (事務局TEL/FAX 044-986-6915)

Email office@youngpraha.jp